

### ▶[ 菊 ]

台風などの大きな被害はありませんでしたが、害虫による花卉のシミや、7月の高温による青枯れ病、下葉からの枯れあがりが見られ、また、丈の伸長不足などの影響もあり、出荷量および等級の低下に繋がりました。

販売面では、コロナ禍の影響で輸入品の市場流通が減少したことに加え、県外の大規模産地でも海外からの研修生が入国できないなどの影響によって生産量が減少したことで、年間を通して高単価で推移しました。11月までの販売額は1億7,907万円、出荷本数は370万本となっています。

次年度においては、年々気温が上昇していくなかの品質の安定が求められているため、高温対策の普及と品質向上に努めます。

### ▶[ ダリア ]

栽培においては、降水量が例年よりも少なく、湿害の影響を受けずに出荷数量が増加しましたが、7月の高温によって出荷時期のずれ込みや、生育停滞などの影響がありました。

販売面では、婚礼やイベントなどの需要が回復傾向にあり、また、昨年度のコロナ禍を鑑みて全国的にダリアの作付面積が大幅に減少したことから需要が高まり、年間を通して安定した単価で推移しました。

### ▶[ 和梨 ]

今年度の出荷数量は、主に晩生種である「豊水」や「南水」で大幅に減少し、「幸水」「秋泉」「かほり」においても2〜3割の減少となり、前年比64.9%でした。また、玉流れについては、平年並み〜やや小玉傾向となりました。数量の減少は、4月10日以降に複数回の降霜によって多くの花が枯死したことが要因と考えられます。

競合他産地の出荷量も春先の降霜によって減少したことにより、出荷始期は高単価で推移しましたが、中盤以降は販売状況が停滞し、最終的に平均単価4,241円/箱(前年比93.3%)、販売額1億3,732万円(前年比60.5%)(男鹿地区)となりました。

### ▶[ メロン ]

3〜4月は晴天の日もあり、早めの定植作業となりました。しかし、最低気温が低く風の強い日も多いなか、降霜もあったことで、二重トンネルでは定植後の生育が抑制気味となりました。実止まり後も低温や水分不足傾向の影響で、特に二重トンネルでは小玉仕上がりでの出荷となりました。

販売単価は、出荷開始から終わりまで高単価で推移したため2,289円/箱(前年比114.1%)となりました。販売額は1億290万円、出荷量は4万4,952ケースとなりました。

## 令和3年度「美味しい米」コンクール 入賞者決定!

(敬称略)

### 「あきたこまち」の部

- 最優秀賞** 石塚 正久 [秋田市河辺]  
整粒値:87.5% / 蛋白値:6.3 / 総合点:752点
- 優秀賞** 高橋 恒悦 [秋田市河辺]  
総合点:728点
- 敢闘賞** 安田 孝一 [湯上市天王]  
総合点:683点
- 佐々木 強 [秋田市雄和]  
総合点:667点

### 「ひとめぼれ」の部

- 最優秀賞** 安田 孝 [湯上市天王]  
整粒値:82.7% / 蛋白値:6.2 / 総合点:743点
- 優秀賞** 田中 重之 [秋田市太平]  
総合点:715点
- 敢闘賞** 安田 義継 [湯上市天王]  
総合点:654点

このたび、令和3年産の「あきたこまち」「ひとめぼれ」を対象に、令和3年度「美味しい米」コンクールが行われました。12月17日(金)には食味官能審査会が秋田県総合保健センターで開かれ、米穀販売業者やJA関係者らが最終審査に残った「あきたこまち」と「ひとめぼれ」を評価しました。



米の味や香りなどを評価する審査員



最優秀賞受賞米は  
直売所「あぐりんなかいち」で限定販売しています

